

神の子池 冬の自然観察会

普段できない体験が…

好天に恵まれた2月25日(日)、昨年8月に阿寒摩周国立公園に組み込まれた清里町「神の子池」で冬の自然観察会を行いました。

雪の上をどこでも歩けるというスノーシューの利点を活かし、ヤチダモ、ダケカンバ、イタヤカエデなどの天然林やトドマツ、アカエゾマツの人工林の中を歩いて神の子池をめざしました。



慣れないスノーシュー、深雪に足を取られながらも、およそ1時間で神の子池に到着、真っ白な雪景色にエメラルドグリーンが映えていました。

復路では、キタキツネ・エゾリス・エゾユキウサギなどの足跡を確認することができ、ネズミの小さな足・シツポ跡には「カワイイ～」の声が上がっていました。



天候にも恵まれ、普段体験できないスノーシューでの散策、神秘的な「神の子池」、動物の営みが見られる等、参加者の笑顔があふれた冬の自然観察会でした。

<吉田昭>

冬の自然観察会

お弁当を楽しみに…



スノーシューをはくのは2回目です。去年より体が大きくなったから速く歩きました。

歩きながら見た木は皮がペロペロむけていたり、割れていたり、たおれていたり、大きな木に小さな木がまきついていたり、いろいろでした。

木に乗っかっている雪が、人の形に見えておもしろいのもありました。

動物の足あともあり、その動物に会いたくなりました。

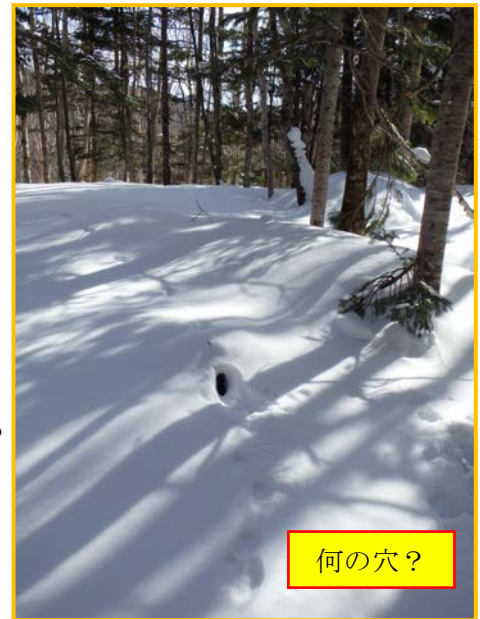
神の子池は、青くてきれいな水で、鳥が泳いでいました。その鳥がもぐっていたのは魚を食べていたのかなと思いました。

天気が良くて気持ちよかったけど帰り道はだんだんつかれて歩くのがいやになりました。

でもおばあちゃんが「がんばれ！お弁当が待っている。」と、何回も言うのでお弁当を楽しみにがんばれました。

来年は、今回行けなくなっただこ（インゲン）といっしょに参加したいです。

スノーシューをはかせてくれたり、はずしてくれたら、たくさんお話をしてくれたおじさん、ありがとうございました。



何の穴？

小学3年生 武田菱琥（りく）

冬の自然観察会

身も心も清々しく

夏の神の子池には何度か行ったことがあり、冬も行ってみたいと思っていたところでの冬の自然観察会でした。

スノーシューは、遥か昔に一度体験しただけでちょっと心配でした。案の定、柔らかい雪の上り坂で悪戦苦闘、班の皆さんに助けをいただき、やっと上ることができました。



トドマツ・エゾマツの葉先を頬にあてたり、コブシの匂いをかいだりして進むと雪に囲まれた神の子池に到着です。

雪の白と池の青、回りの静けさ、身も心も清々しくなりました。

帰り道では、タヌキ、ウサギ、ネズミ等の足跡があり、特にネズミはしっぽの跡もあり感動、動物の姿が目に見えました。

一日楽しい体験をさせていただき、会のみなさん、班のみなさん、ありがとうございました。

村上 幸江（一般参加）

【なるほどクイズ】

（答えは会報のどこかに…）



植物は、生活し、成長するためにたくさんの水を必要とします。その一つに葉の温度を下げるための「蒸散」があります。

蒸散が盛んに行われるときは、森林全体では1日あたり数mm、樹木1本では大きさにもよりますが、数十から数百リットルの水を蒸散するそうです。

そこで問題です。

樹木は、高さ数十mのところにある葉までどうやって水を運ぶのでしょうか？

冬の自然観察会

新たな発見がいっぱい！

お天気も良く、きれいな斜里岳が
迎えてくれる中でスタートした自然観
察会。

散策の途中、雪の絨毯じゅうたんに寝転んで見
上げると見入ってしまうほど、広大な
青空！童心に返り、思わずはしゃいで
しまいました。



森の中で、随所で受けるガイドさんの説明はとてもわかりやすく、新たな
発見となりました。

神の子池に到着！真っ白な雪の中の神の子池は青さがひとときわ際立ち、「わ
あ！きれい！」との声が出てしまう感動。

スノーシューで歩いてきた人にしか見ることのできない風景…だからハマ
ってしまいます、スノーシュー！

初めてお会いする方たちとも和気あいあいと楽しく過ごした一日でした。
ありがとうございました。

山田 佳世

【なるほどクイズ】（答え）

『健康な樹木の通導組織は水で満たされ、木部の水は、葉か
ら水が蒸発する（蒸散）時に発生する「張力」によって枝先の
方に引き上げられる。数十メートルも上昇できるのは、水分子が互いに引き
合う力、つまり「凝集力」がこの引っ張りの力に耐えるから。』という説が
一般的です。

しかし、それだけでは、葉が芽吹く前に大量の水を吸い上げていること（シ
ラカバ樹液など）など説明できません。

森林・樹木には、不思議がいっぱいです。



総会を開催しました

10周年の想（重）い込め！

平成 29 年度森林ボランティア「オホーツクの会」総会が 3 月 17 日（土）に常呂川森林ふれあい推進センター 2 階会議室で会員 18 名の参加で行われ角副会長の司会で、終始、和やかな雰囲気で行われました。



はじめに、鞆師会長から「2008 年 3 月 9 日の結成からふれあいセンターの指導と援助を受けながらの活動でした。それから 10 年、森林・樹木・自然をまなび、仲間の輪を拡げてきました。この一年間は、会の自主活動や【隊】活動など、多くの活動を行ってきました。今年は、この 10 年の想い（重い）を込めた活動を行っていきましょう。」とのあいさつがありました。

その後、川淵常呂川 FC 所長から来賓あいさつを受け、議事に入りました。

活動報告では、会主催・共催のイベント等では 12 件延べ参加人員 107 名（平均 8.9 名）、他団体主催のイベント等への協力参加は 10 件 67 名（平均 6.7 名）、合計 22 件 174 名（7.9 名）の参加状況でした。

活動計画では、隊の活動充実を図ること、10 周年記念行事は実行委員会で具体的な取り組みを検討などの提案がありました。

いくつかの質疑（内容は別記）があり、全体の拍手で議案を承認、新役員（幹事）として小林洋幸さんを選出して総会を終えました。



総会終了後には、ふれあいセンター近藤さんの進めで、雨降り対策として用意しているというネイチャーゲーム「私は誰でしょう？」を行い、心がほっとするひと味違う総会でした。

<栄>

総会の主なやりとり

昨年の行事で、「森の家まで行けない」との理由で参加できなかったとの声があった。

昨年は旅客業法の関係でバス借上げ規制が難しかったが、次年度から従来どおりの借上げが可能になった。(常呂川 FC)

「森林の魅(味) 力を感じよう！」の取り組みは、魅力的な行事であり、山菜採りのマナーなど大事なことだ。

会としても山菜採りのマナーなど啓蒙に努めたい。実施については、常呂川 FC で講師・内容を含めて検討している。

「隊」活動について、活動内容や隊員への連絡など工夫が必要ではないか。

隊メンバーの募集、活動報告など、会報を通じて行い、会の活動充実をめざしたい。

こどもたち対象のイベントを夏だけでなく、秋・冬もやったほうが良いと思う。

フィールド(トイレ)、日程等の問題もあり、活動を行いながら検討を進めたい。

新役員(幹事)です。

子どもの時から、山は近く、遊び場でした。

「オホーツクの会」の活動に加わって、植物の知識が増えると、昔、親しんだ木や草についての認識を新たにします。

森の奥深さと魅力にますますはまっています。

まさに、今、自然を守る活動が重要であり、皆さんと一緒に楽しくやっていきたいと思えます。

よろしく申し上げます。



小林洋幸さん

クラフト研究隊活動開始

想像力 フル活用で！

1月21日（日）、常呂川森林ふれあい推進センター2階会議室でクラフト研究隊の初活動を行いました。

参加者は、全部で8名と若干寂しい数でしたが、吉田昭隊長の指導を受けながら大型セリ植物の枯れた花茎を利用した和傘作りやそれぞれの想像力をフルに活かした作品作りを行いました。



特に、和傘作りでは時間が足りず、最後の仕上げは家に帰ってからの宿題となった方もいました。

クラフト研究隊では、今後も自然素材を活用した作品作りに挑戦したいと考えており、皆さんの参加をお願いします。

吉田昭

隊員募集しています！

◆自然に学び隊	隊長	吉	田	昭	義
◆炭づくり隊	隊長	小	島		愼
◆クラフト研究隊	隊長	渋	谷	朝	美
◆竹とんぼ隊	隊長	長	谷川	秋	夫
★身体動かし隊	隊長	栄		平	男
★色いろ食べ隊	隊長	金	村	輝	雄
★活動広め隊	隊長	植	村	之	彦
★ロープ結び隊	隊長	角		良	和

★は新た結成の【隊】です。

◎重複して参加することもOKです。

身体動かし隊

森の家の周辺や遊歩道等の草刈りや倒木処理を行います。

チェンソー・刈払機・鎌・ノコ等及び身体を使つての作業です。

鎌やノコはふれあいセンターから借りることができますので体一つ(長靴・手袋など作業できる服装)で大丈夫です。

時間と体力に余裕(?)のある方の登録をお願いします。

当面、自主活動に合わせて5月8日、5月26日、6月12日が活動日です。

色いろ食べ隊

雪解けとともにギョウジャニンニク、ウド、タランボ、フキ、ヨブスマソウなどの山菜シーズンが到来します。

そして、気温の上昇とともにキノコの季節…雪が降るまで楽しめます。

メジャーな山菜からゲテモノ(?)まで、森の恵みに感謝しながらオホーツクの森を味わいましょう。

初回活動日は、自主活動に合わせて5月26日です。

隊員募集!

活動広め隊

一般市民への会の活動PRとしてのパネル展、会員への報告・情報として会報発行をしています。

こうした広報活動に活用する写真撮影及びパネル展会場のレイアウト、会報に係る一連の作業の手伝いなどを行います。

そして、一番大事なのは【ロコミ】、色々と楽しい活動をしています〜ぜひ入会を!という日常活動かも…。

『SNS』されている方、大歓迎!

申込みは、別紙により事務局へ

ロープ結び隊

「まき結び」「ひと結び」「もやい結び」「自在結び」など、自然体験活動では(日常生活でも)ロープワークが大切です。

こども探検隊(生田原教育センター)でもブランコ・ターザンロープなど、安全かつ取り外し可能な『結び』が必要です。

そんなロープワークを学び、オホーツクの会の活動を通じて、人と人を【結ぶ】活動を実践しましょう。

「自然に学び隊」活動開始します！

春を楽しみながら、自然を観察しましょう！

隊長 吉田昭義

第1回 5月13日(日) 10時~12時
北見市野付牛公園(集合：北網圏北見文化センター駐車場)

第2回 6月10日(日) 9:30~
オホーツクの森 「森の家」集合
(詳細は、隊長：吉田または事務局へ問合せ下さい)

お知らせ

※ 申し込みは、別紙申し込み用紙を活用下さい

○第1回自主活動(5月~10月、第2火曜日)

日時 平成30年5月8日(火) 9:30~
場所 「森の家」集合
内容 「森の家」周辺の環境整備、自然観察他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
申込み 4月26日(木)まで

○第2回自主活動

日時 平成30年5月26日(土) 9:30~
場所 「森の家」集合
内容 「森の家」周辺の環境整備、自然観察他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
申込み 5月17日(木)まで

○森の魅(味)力を感じよう！(常呂川FC主催)

日時 平成30年5月27日(日) 9:30~
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます。
出発 9:00(受付 8:30~)
場所 オホーツクの森(森の家周辺)
内容 山菜・野草に関するエトセトラを通じて、森林の魅力を感じ、
森の恵みに感謝しましょう。
持ち物 森林散策・山菜採取できる服装、昼食、飲み物他
申込み 5月17日(木)まで、定員30名程度(定員数を上回った場合、抽選となりますのでご了承願います。)

○第3回自主活動（5月～10月、第2火曜日）

日時 平成30年6月12日（火） 9：30～
場所 「森の家」集合
内容 展望台・「古の森」周辺の環境整備、自然観察他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
申込み 6月5日（火）まで

○オホーツクの森散策会（10周年記念行事）

日時 平成30年6月17日（日）
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます。
出発 9：00（受付 8：30～）
場所 オホーツクの森（展望台、「古の森」）
内容 春（初夏）のオホーツクの森散策、記念植樹、（山菜採取）
持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物他
申込み 6月7日（木）まで

（この散策会は、コープ未来の森づくり基金2018年度少額助成を受けて実施します）

○森林づくり塾（常呂川FC主催）

日時 平成30年6月24日（日） 9：30～
常呂川森林ふれあい推進センターからバスが出ます。
出発 9：00（受付 8：30～）
場所 オホーツクの森
内容 森林づくり体験を通じて自然を感じる。
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
申込み 6月14日（木）まで

オホーツクの森のすばらしさを感じよう！

2008年3月9日の誕生から10年、「実行委員会で記念行事を検討する」（総会）を受けて、4月12日に実行委員会を行い、6月17日（日）に森林散策会・記念植樹等を行うこととしました。

網走湖・能取湖・オホーツク海を見下ろし、天気が良ければ知床連山まで見渡すことができる網走市・北見市にまたがる展望台、樹齢200年を越える樹木を数多く見られる「古の森」を中心に私たちの活動の中心である「オホーツクの森」のすばらしさを確認したいと思います。

また、時期的に森の恵み（山菜）のお土産（自力採取）も期待できます。オホーツクの会の記念イベントでもあり、多くの会員の参加をお願いします。

＜実行委員長 鞆 師 守＞

◆◆事務局が替わります◆◆

4月1日付けで常呂川森林ふれあい推進センターの人事異動がありました。
所長

川淵義昭→釧路湿原森林ふれあい推進センターへ
南 達彦（北海道森林管理局 技術普及課より）

自然再生指導官

近藤光荣→3月31日定年退職、4月1日再任用（行政専門員）
磯野一浩（網走中部森林管理署佐呂間森林事務所より）

この異動に伴い、オホーツクの会に関して次のように替わりました。

事務局 磯野一浩 担当 近藤光荣

川淵前所長におかれては、平成28年10月から1年6ヶ月大変お世話になり、ありがとうございました。

元当会事務局担当の立野自然再生指導官と同じ職場となることから、お二人ともども健康に留意され、益々活躍されることを祈念します。



南 所長

前任地（技術普及課）では、全道で4箇所ある森林ふれあい推進センターの業務調整と自然再生を担当していました。

オホーツク管内の勤務は6年ぶり（知床森林センター：当時）ですが、雄大な自然が印象に残っています。

森林との「ふれあい」関係は、山・森の良さを直に理解していただく重要なものと考えています。

何かとお世話になりますが、よろしくお願いします。



磯野指導官

自宅（網走）からの通いになります。前任地の佐呂間では3年ほど山作りを経験しました。

それ以前も含めて「ふれあい」業務は素人なので、どこから覚えて手をつけたらいいものか皆目検討が付きません。

ただし、道内でも有数の自然が残されたオホーツク管内で、その自然に触れながら楽しく仕事ができればと考えております。

これからいろいろなことを覚えていきますので、長い目で見てやってください。よろしくお願いします。

木々に関するつぶやき

「サクラ」(休眠打破：寒さで目覚める)

桜は夏に翌春咲く花芽を形成し、いったん休眠に入ります。花芽は冬に低温にさらされることで休眠から覚め、その後の気温上昇と共に花芽は成長して開花に至ります。

気象台では標本木に花が5～6輪咲いた状態を開花と定義しており、基本的にはソメイヨシノですが、北海道内では生育が難しい地点があるため、稚内、旭川、網走、帯広、釧路ではエゾヤマザクラが標本木だそうです。

会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。(退会される方は事務局へ一報願います)



心当たりの方はよろしくお願ひします。

— 納入方法 —

- ・ 総会および会が主催・参加するイベント時に納入
(会報等でご確認ください)
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入
- ・ 会の郵便局口座に振り込む(手数料がかかります)

振込先口座 19960-8073231

森林ボランティア「オホーツクの会」



お問い合わせ

北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

FAX 0157-26-2144